

## 放射性廃棄物の保管状況（2026年3月31日現在）

弊社は、核燃料物質の使用許可を有し、核燃料物質を用いた試験・研究を行っています。試験・研究の実施等に伴って放射性廃棄物が発生しますが、この放射性廃棄物は最終処分までの間、弊社の保管場所で保管することとなります。放射性廃棄物の保管状況は以下の通りです。

### [東海地区]

- (1) 保管場所 廃棄物保管庫、燃料ホットラボ施設（貯蔵プール）
- (2) 保管容器 低レベルA：20リットルSUS缶（貯蔵プール内）  
20リットルSUS缶入りキャスク（廃棄物保管庫内）  
低レベルB：200リットルドラム缶（廃棄物保管庫内）  
：フィルタ専用保管容器（廃棄物保管庫内）
- (3) 保管能力 低レベルA：200リットルドラム缶換算83本相当  
低レベルB：200リットルドラム缶3210本
- (4) 保管数量 低レベルA：200リットルドラム缶換算32本相当  
低レベルB：200リットルドラム缶換算2795本相当

注)・低レベルA：主にホットセル内で発生した廃棄物

・低レベルB：上記以外の廃棄物



200リットルドラム缶及びフィルタ専用保管容器の保管状況



20リットルSUS缶入りキャスクの保管状況

### [大宮地区] (大宮地区研究施設解体時の廃棄物を保管)

- (1) 保管容器 ボックスパレット（角型容器）
- (2) 保管数量 1,180個（200リットルドラム缶換算：9,196本相当）